

第Ⅱ章 重篤事故事例

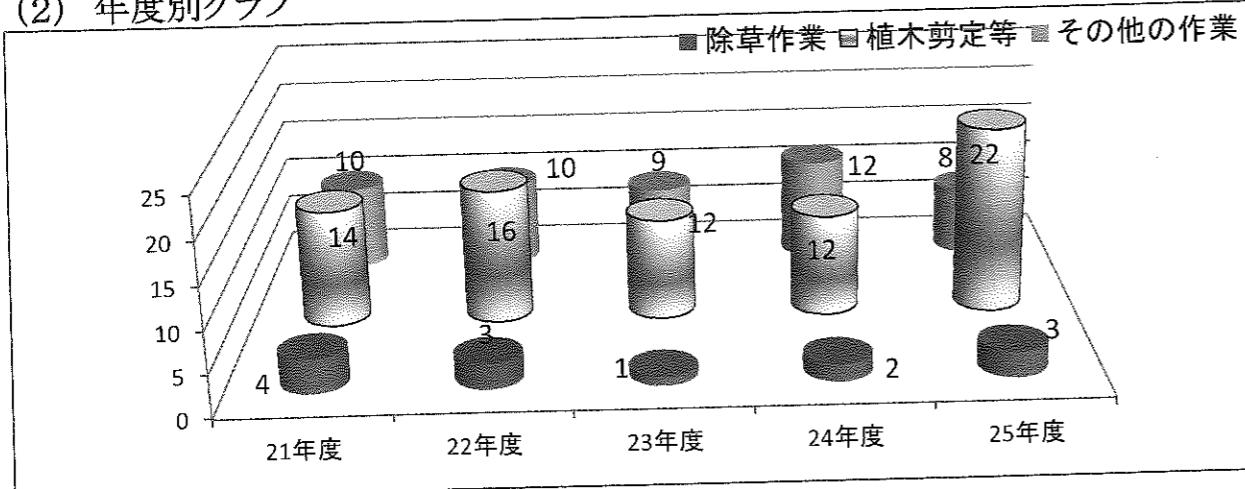
第1節 就業中における事故事例

1 就業中における事故データ

(1) 年度別事故推移

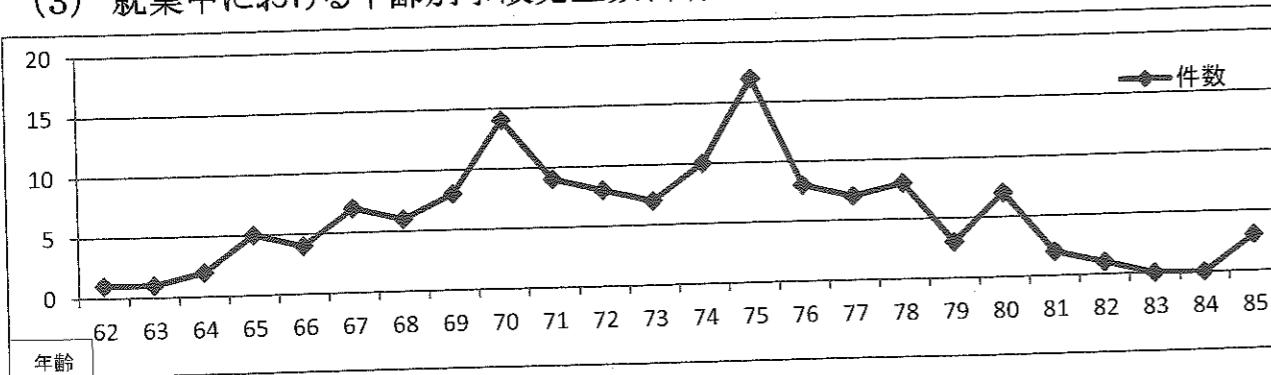
	21年度			22年度			23年度			24年度			25年度		
	死亡	入院	計												
植木の剪定等	8	6	14	9	7	16	9	3	12	9	3	12	13	9	22
除草作業	2	2	4	3	0	3	0	1	1	0	2	2	3	0	3
その他の作業	5	5	10	6	4	10	7	2	9	9	3	12	6	2	8
合計	15	13	28	18	11	29	16	6	22	18	8	26	22	11	33

(2) 年度別グラフ



平成25年度は、就業中の事故が33件と最悪の状況であった。作業別では、植木剪定が突出して多く、保護具の未着装が重篤事故に直結しており、大きな課題となっている。

(3) 就業中における年齢別事故発生数(平成21年度から25年度の5年間の件数)



年齢別による事故の増減はそれほど差異はないが、70歳と75歳が突出して多い。また、80歳を超える会員の重篤事故も少なからずあり、日常の健康管理、安全管理、就業の適否など、組織として就業の在り方等を考慮する必要がある。

2 植木剪定・樹木の伐採時における事故事例

(1) 脚立及び三脚脚立を使用しての転落事故

No	性別	年齢	事故の程度	事故状況	保護具の有無	
					保護帽	安全帯
1	男	77	死亡	個人宅の庭にある高さ3mを超えるしだれ桜の剪定作業をするため、脚立を3.6mに伸ばしロープで木に結束し作業を行っていたが、庭から1m下がった道路側に誤って転落する。脳挫傷にて死亡。	×	×
2	男	68	入院	企業の敷地内にある樹木の剪定を6人で就業中。フェンス(1.5m)の外側(道路側)から内側に三脚を固定し作業していたが、バランスを崩し歩道に転落。脳挫傷で長期入院。	×	×
3	男	75	死亡	樹木の伐採作業を3人で就業。伐採する枝に事前にロープ掛けするため、三脚に上り作業しようとした時に転落し腰を強打する。	○	×
4	男	77	死亡	個人宅の植木剪定作業を3人で就業。三脚梯子を車庫の屋根に立て掛け、その梯子に上り松の枝の剪定中、三脚梯子が倒れて墜落し頭部を強打する。脳挫傷で死亡する。三脚梯子の不適切な使用	×	×
5	男	70	死亡	三脚脚立を使用し、一人で刈り込みハサミで松の木(2m)の剪定中に転落する。右足の太ももに刈り込みハサミが刺さり、大量出血により死亡する。	×	○
6	男	69	入院	脚立に上り樹木の伐採中に転落する(目撃者がないため詳細は不明)。道路と植え込みの境にある縁石で首を打ち、頸椎脱臼骨折で長期入院。	×	×
7	男	71	入院	個人宅の剪定を3人で就業。うち一人が1.5mの脚立に上り作業していたところ、転落し地面に置いてあった丸太に頭部を強打し頸椎骨折等で入院。	×	×
8	男	72	死亡	個人宅の松の木の剪定を2人で就業中に、足場3mと思われるところで作業している会員が転落し外傷性ショックで死亡する。転落の瞬間は目撃者がおらず詳細は不明。	×	×
9	男	70	入院	脚立(2.7m)を使用しての剪定作業中、バランスを崩して転落する。地面にあった石に頭を強打し、意識不明で入院中。	×	×
10	男	72	死亡	三脚脚立に上り、チェンソーで樹木の伐採中、安全帯装備が困難な状況と思われ、一時的に安全帯を外しての不安全な作業中に、高さ3mの所から転落する。	○	×
11	男	80	入院	植木剪定作業中、脚立の固定が不安定な状態から脚立ごと転倒しコンクリートの地面に後頭部を強打し、頭蓋内出血のため手術後入院。	×	×

12	男	70	入院	高さ約2mの植木を三脚脚立に上り剪定作業中、バランスを崩し、約1mの位置から庭の地面に転落。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
13	男	65	入院	植木剪定作業中、三脚より安全帯を外し、体の向きを変えて降りる際、三脚から落下。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
14	男	77	死亡	剪定作業中、大量に発汗したため、脱水症状を起こし一瞬気が遠くなり、脚立上から約2m転落し、右額上部を強打。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
15	男	85	入院	植木剪定作業で脚立に上り、作業を開始しようとした時2m程の高さからバランスを崩し転落。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
16	男	65	死亡	会員2名で校内の植込みを剪定作業中スズメバチの巣を見つけ殺虫剤をまいていたところ、バランスを崩し脚立（10尺脚立下より三段目）から約1メートル下のコンクリート地面に頭を打ち病院に搬送、翌日死亡。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
17	男	71	入院	高さ2m程の木に三脚を使用し、剪定作業を行っていた際に、木の茂みの中の枝に足を掛けようとして、体重移動したところ、誤って枝の無いところに体重移動して転落。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
18	男	80	入院	植木側面を脚立に上って半身を乗りだし作業をしていた所、バランスを崩し3メートルの高さからフェンス反対側の畑に落下。安全帯をせず、脚立の上で体を斜めにしての危険作業が原因。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
19	男	75	死亡	松の木剪定中、午後2時頃 木の枝が折れて転落。一人就業中、発注者に発見され、医師の診断書によると、後頭部から転落と推定されると記載されている。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
20	男	70	死亡	スダジイの木を高さ5mの地点で剪定作業中に枝が折れ、安全ベルトを装着した枝もろとも転落した。ヘルメットは未装着。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
21	男	69	死亡	脚立に乗り低いブロック塀越しの剪定作業中、バランスを崩し約2mの高さから転落した。当初は左肩甲骨の骨折との診断であったが、その後、肝臓、腎臓からの出血があることが分かり、肝臓からの出血が止まらず死亡した。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
22	男	76	死亡	剪定作業中、7尺の三脚から転落し頭部を強打した。救急車を手配し病院に搬送したが死亡した。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
23	男	65	死亡	樹木の枝落し作業を脚立(180cm)に乗り動力チェーンソーで作業中、転落し入院したのちに死亡した。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
24	男	80	死亡	植木剪定作業中、楳の木を12尺の脚立て作業中にバランスを崩し落下した(手のしびれ、足のしびれがあった)。その後、病院に搬送され脊髄損傷で手術を行い入院したが、のちに死亡した。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
25	男	76	死亡	三脚と共に後方に倒れフェンスにぶつかり、コンクリートの道路に転落し胸部を打撲した。救急車で病院に搬送されたが、転落した際、肋骨が折れて肺に刺さり出血多量となり死亡した。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

26	男	75	死亡	河川堤防道路上路肩付近で、高さ3メートルの脚立を使用し、道路面から4メートル以下の桜の枝を伐採作業をしている際、バランスを崩し、約2.4メートルの高さから落し路面に頭部を強く打ちつけた。その後病院に搬送されたが死亡した。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
27	男	75	死亡	植木剪定作業中、三脚脚立から転落した。同行就業会員が異音に気付き近づくと、舗装道路上で意識不明の状態であったため、救急車で病院に搬送した。集中治療室にて治療したが、意識不明状態が続き、翌日死亡した。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
28	男	70	死亡	脚立を使用し樹木を剪定中、身体を振った際足を滑らせたが、安全帯を括っていた枝が折れたため、約3mの高さより地面に落下したものの。その後病院に搬送されたが死亡した。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
29	男	69	死亡	もみじの剪定を行うため、1.8m道路からブロック塀越しに三脚をたてブロックに三脚を結び、4段目まで上がったところ、後ろ向きに倒れ舗装に頭をぶつけた。その後、病院に搬送されたが死亡した。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
30	男	78	死亡	植木剪定後処理作業中に、発注者宅の隣家の庇の上に、剪定後の木の枝や葉が載っていたので、脚立にのぼってそれらを取り除いていたところ、脚立から転落し、発注者宅の窓のサッシ下部に頭を打ちつけ負傷した。その後、病院に搬送されたが死亡した。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
31	男	75	死亡	作業開始から約1時間後、高さ約4mのウバメガシを三脚に乗りトリマーを使って剪定作業をしていた際、脚立の上から3段目の約2mの高さから転落した。ヘルメットを着用していなかったため、コンクリート面に頭部をぶつけて頭蓋骨を骨折した。その後、病院に搬送されたが死亡した。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
32	男	74	死亡	柿の木の剪定作業中に脚立が傾き、脚立の三段目(推測)からアスファルト舗装道路(幅員4m)へ転落し、右肩・頭部を強打した。その後、病院に搬送されたが死亡した。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
33	男	75	死亡	門かぶりの松を剪定するため、足場板を脚立と門の瓦の上に渡して作業をしていた。作業は、足場板と塀の上にまたがって行なっていたものと思われる。作業中に足場板側の足に力が入り、足場板を蹴った状態になったものと考えられ、そのため脚立が倒れ会員は真下の石段に転落し、病院に急送されたが、骨折や頭部打撲により死亡した。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
34	男	78	入院	植木の剪定作業の休憩中に、石垣(H=3m)に掛けておいた脚立の桟に腰を下ろそうとした際、不安定な状態になっていた脚立から落下したことにより、下面の畠の石で左側頭部を打撲した。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
35	男	72	入院	ゴルフクラブ内パッティング練習場脇の木を、8尺(8段)の脚立の7段目に立ち、剪定作業をしていたところ、バランスを崩し約2mの高さから転落した。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
36	男	73	入院	10段の脚立の7段目に乗り剪定作業中、枝に絡まっていた蔓を引っ張ったところ、突然切れ高さ2mより後ろへ倒れながら後頭部より落下した。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
37	男	78	入院	脚立に登り剪定作業中、誤って脚立から転落し、頭をアスファルトにうち意識がなくなり救急車で搬送された。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>